

フィールドスタディの取り組み

本学は、「地域と呼吸する大学」、つまり地域に関する知識を有する人材育成及び学生の現場力、地域力を高めることなど、実践教育活動を必要不可欠なものと考えています。こうした考えのもと、地域実践活動を学生参加型で行うことにより、本学の学生の実践教育、教員の教育・研究活動をより多くの方に知っていただき、地域のみならずとのさらなる連携を実現してまいります。



1 番田芋プロジェクト：地域資源のブランディングと新商品開発
 2023.4～
 玉野市内、岡山市内
 商学科：26名
 ●地域資源を活用し、玉野市の観光課題解決を目指す新商品開発。
 ●ばんだ農園（農業）、玉野プリント（一次加工業）、なかや宗義（菓子製造業）、小倉産業（卸売業）、大江紙器（梱包資材製造業）の関係者と打ち合わせ。
 ●「地域を届ける。第3回せとうちおみやげグランプリ」グランプリ受賞。
 商学科 助教 西春奈

2 1年教養演習（吉田ゼミ）「岡山後楽園の歴史と文化探訪」
 2023.5.11
 岡山後楽園（岡山市北区後楽園）
 商学科1年教養演習履修者 10名
 ●世の中を知る社会を知るシリーズ「地元岡山の歴史と文化・経済の研究」
 商学科 教授 吉田信

3 岡山青年会議所「シゴトカレッジ2023」
 2023.5.20～7.8
 岡山市内
 商学科：三好ゼミ3・4年生20名
 ●岡山青年会議所に所属する企業と協働で、4年ゼミが桃栽培の養桃園と連携し課題解決策を提案したり、3年ゼミは、アイス販売のクオーターションマークと連携し学生自ら開発したアイスパフェを3日間自分たちで店舗運営を行い販売をした。
 ●コンテストでは、3年が最優秀賞、4年が優秀賞を獲得した。
 商学科 教授 三好宏

4 研究演習2年（西ゼミ）おかやまコープ×なかや宗義：クリスマスケーキの企画開発、販売
 2023.5.31～12.25
 なかや宗義宇野店（玉野市宇野）、おかやまコープ大福店（岡山市南区）
 商学科：12名
 ●おかやまコープ（小売業）、なかや宗義（菓子製造業）とクリスマスケーキを共同開発。
 ●コープ大福店頭で販売活動。
 ●PR動画の制作。
 商学科 助教 西春奈

5 番田芋プロジェクト：サツマイモ苗植え
 2023.5.21、5.23、6.17
 ばんだ農園（玉野市番田）
 経営学科：1名、商学科：13名
 ●生産者から指導を受けながら作付け体験。
 ●新製品開発のため、生産者へのヒアリング調査および現場の観察調査実施。
 商学科 助教 西春奈

6 岡山商科大学国際交流特別講義—中国文化プログラム—
 2023.6.2～2023.7.14
 岡山県立津山商業高校（Zoom）
 津山商業高校生徒：4名
 ●中国語を学ぶと共に、日本や中国の文化を比較しながら交流をする。交流事業中国文化体験（中国粽）等を行った。翌週からZoomを用いて中国文化講座を行った。
 岡山商科大学孔子学院 学院長 黎晓妮、李東輝

7 ホテルのタバ in 北房
 2023.6.10、6.17
 真庭市北房
 商学科：5名
 ●コロナ禍も収束したことから、伝統行事が復活し、その視察と運営補助を行った。
 商学科 教授 三好宏

8 日ようび子ども大学「キッズマネー教室」
 2023.6.11
 岡山県生涯学習センター（大学コンソーシアム岡山主催）
 商学科FPコース2年生：8名、1年生：11名
 ●大学コンソーシアム岡山主催の「日ようび子ども大学」にて「キッズマネー教室」を開催。学生が主体となって参加児童46名に対して小学生向け金融リテラシー教育を行った。
 商学科 教授 高林 宏一

9 デートDV・ヤングケアラー 研修会
 2023.6.15
 学内
 商学科1年：83名
 ●法務省及び岡山県擁護委員会の皆さんによるDV、虐待、ヤングケアラーについての勉強会
 商学科 教授 吉田信

10 湯原温泉のイベント協力 露天風呂の日
 2023.6.25～6.26
 真庭市（湯原温泉）
 商学科：4名
 ●学生が神事の巫女役として協力したほか、日本温泉協会総会の運営補助にも協力した。
 商学科 准教授 大石 貴之

11 教養演習（大石ゼミ）
 2023.7.1
 岡山市中心部
 商学科：11名
 ●岡山駅から後楽園までを歩き、岡山市が城下町起源の都市であることや後楽園の役割について解説するとともに、観察による情報収集を実施した。
 商学科 准教授 大石 貴之

12 大学コンソーシアム エコナイト
 2023.7.8
 奉還町商店街
 商学科：11名
 ●コロナ禍も収束し、恒例の奉還町商店街で実施するエコナイトに、リサイクル品を活用した射的を出店し、職員と学生たちが運営した。
 商学科 教授 三好宏

13 教職フィールドスタディ「日本銀行岡山支店」見学と経済動向の研究
 2023.7.27
 日本銀行岡山支店（岡山市北区丸の内）
 経営学科及び商学科の教職課程「商業・情報」免許履修者20名
 ●高校商業の教科書「ビジネス基礎」「ビジネス経済」の金融の単元についての実地調査
 商学科 教授 吉田信

14 総社市インターンシップ
 2023.8～9
 総社市役所
 法学科：2名、経営学科：3名
 ●総社市との包括協定に基づくインターンシップ。
 ●学生が希望する部署に配属され、5日間、業務にあたる。経験したに基づき、インターンシップ成果報告会で、市長等へ政策提言を行う。
 産学官連携センター

15 番田芋プロジェクト：菓子製造工場の視察
 2023.8.4
 なかや宗義荘内工場（玉野市長尾）
 商学科：6名
 ●商品化に向けて製造設備等の資源を確認。
 商学科 助教 西春奈

16 教職フィールドスタディ「第53回岡山県高等学校商業教育研究大会」
 2023.8.8
 ビューリティまきび（岡山市北区下石井）
 経営学科及び商学科の教職課程「商業・情報」3年・4年生免許履修者22名
 ●岡山県下商業科の現職の先生方150名ほどが参加されている研修会。商業に関する講演会、研究発表、研究協議を行う。商業教育の推進を図る研究大会。
 商学科 教授 吉田信

17 学芸員課程フィールドスタディ 博物館館実習
 2023.8.16～8.24
 倉敷考古館（倉敷市）
 倉敷埋蔵文化財センター（倉敷市）
 学芸員課程：2名（法学科1名、商学科1名）
 ●博物館で5日間わたって実際の学芸員の業務を体験し、学芸員としての心構えや専門技術を学んだ。
 ●実習後に体験発表会を実施。
 商学科 特任教授 福本 明

18 湯原温泉のイベント協力 はんざき祭り
 2023.8.22～8.24
 真庭市（湯原温泉）
 商学科：9名
 ●学生が山車の引き回しや出店の運営、片付け等に参加・協力した。
 商学科 准教授 大石 貴之

19 瀬戸内市インターンシップ
 2023.8.28～9.9
 瀬戸内市役所
 法学科：1名、経済学科：2名
 ●瀬戸内市との包括協定に基づくインターンシップ。
 ●総合政策部企画課で、政策調整や地域振興業務等を行うほか、福祉部いきいき長寿課で高齢者支援業務等10日間、業務にあたる。
 産学官連携センター

20 商大講座「発想法ワークショップ」
 2023.8.29
 瀬戸内市役所
 商学科：4名
 ●昨年に引き続き、瀬戸内市役所入職5年目の職員を対象とした研修行事として、ブレインストーミングとK法を学生たちもグループに交じって実施した。
 商学科 教授 三好宏

21 日韓学生未来フォーラム
 ソウル研修：2023.9.2～9.5
 日本研修：2023.11.4～11.7
 東国大学（韓国ソウル）、昌徳宮、国立中央博物館
 滋賀県立大学、四天王寺ワッツ
 経済学科：3名
 ●韓国学生との交流・文化体験
 ●政治・経済・社会ワークショップ
 経済学科 准教授 國光 類

22 観光庁インバウンド事業「北島島モニターツアー」
 2023.9.3、10.7
 笠岡市北島島
 経済学科：3名（中国留学生）、経営学科：1名（中国留学生）
 ●北島島活性化プロジェクト協議会、株式会社JTBと連携しているモニターツアーとして、学生が観光事業関係者と共に参加した。
 ●北島島は近年観光力を入れているところで、牡蠣いかだでの牡蠣試食、石切り場展望・湖面舞台、光劇場などを巡り、その観光の可能性に対する意見を述べた。また、9.3のツアーではA1ファッションショーというイベントを行った。詳しくはP.24へ
 商学科 教授 三好宏

23 観光サービス実習

2023.9.5～9.8
真庭市(湯原温泉)
中国留学生2名、韓国留学生4名を含め商学科:10名
●ホテルゆばらリゾートの古林氏から湯原温泉の歴史温泉講座による観光の知識とコンテツなどの施設や湯原温泉街周辺についてお話を聞いた。
●聞いた話をもとにしてキャラクターから考えグッズのデザインをした。



24 真庭市北房プロモーションビデオの多言語化

2023.9.5～2023.12.12
里山里海交流館しんびお(真庭市)
商学科:(韓国・スリランカ)2名、交換留学生(中国):1名
●ホテルの保護活動に関するプロモーションビデオについてインバウンドを見据えた多言語化の依頼があり、教員が翻訳し、留学生がナレーションを吹き込んだ。
商学科 教授 松浦 美佐子、商学科 教授 黎 曉妮
商学科 准教授 ソ ユンソン



25 観光地計画論

2023.9.6～9.9
蒜山高原(真庭市)
商学科:5名
●蒜山高原における観光の変化を分析するため、観光施設の経営者に対する聞き取り調査や、観察調査を実施した。
商学科 准教授 大石 貴之
商学科 准教授 杉本 敦



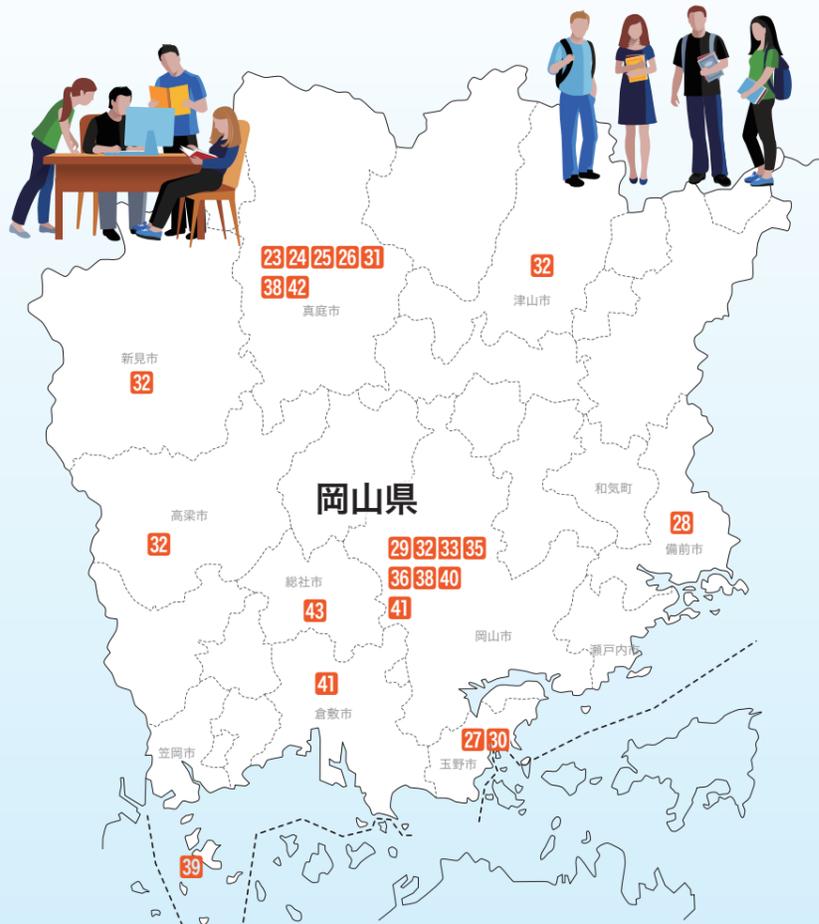
26 真庭市社地区「社祭り」

2023.10.9
真庭市社地区
法学科:1名
経営学科:2名
商学科:3名
●真庭市社地区に平安時代から祀られているお社の5基のお神輿の内、担ぎ手不足により、1基しか担げない状況から、学生を派遣し神輿を担ぎ地域活性化の一端を担った。
商学科 教授 三好 宏



27 番田芋プロジェクト: サツマイモ収穫、選別

2023.10.24、11.21
ばんだ農園(玉野市番田)
商学科:16名
●生産者から指導を受けながら収穫、選別作業を体験。
●「農業リノベーション」に向けた生産現場の課題抽出。
商学科 助教 西 春奈



28 日生カキオコまちづくりの会「後継者問題を考えるワークショップ」

2023.10.22
備前市日生地区
商学科:3名
●ご当地グルメとして人気を得ているカキオコだが、店主の高齢化により今後店の後継者不足問題をどうするかを考えるワークショップに、若者代表として学生3名がカキオコ店、日生漁協関係者と共に参加した。
商学科 教授 三好 宏



29 岡山県立岡山東商業高等学校「授業見学」

2023.11.1
岡山県立岡山東商業高等学校(岡山市中区東山)
経営学科及び商学科の教職課程「商業・情報」免許履修者3年生:10名
●来年度教育実習に参加する3年生の学生が、大学で行っている日頃の模擬授業、来年度6月の教育実習の視点から学校現場の授業を見学させていただく企画。
商学科 教授 吉田 信



30 番田芋プロジェクト: ふれあいフェスティバル in 東1 2023 出店

2023.11.4
玉野市東見地区
商学科:7名
●番田芋プロジェクトのPR(展示パネル、リーフレットの作成)。
●番田芋どら焼き(飯)のテストマーケティング実施。
●番田芋についてのアンケート調査実施。
商学科 助教 西 春奈



31 真庭市社地区「竹灯ろう作製ワークショップ」

2023.11.5
真庭市社地区
経営学科:1名
商学科:2名
短期留学生:1名
●真庭市社地区にて大晦日に開催される「やしろ竹あかり」で使用される竹灯ろうを地域の方々と作成した。
商学科 教授 三好 宏
商学科 准教授 大石 貴之



32 学芸員課程フィールドスタディ 博物館見学実習

2023.11.10～12.1
吉備路文学館(岡山市)
岡山県立記録資料館(岡山市)
池田動物園(岡山市)
遺跡&スポーツミュージアム(岡山市)
新見美術館(新見市)
高梁市成羽美術館(高梁市)
つやま自然のふしぎ館(津山市)
津山まなびの鉄道館(津山市)
学芸員課程:2名(法学科1名、商学科1名)
●県内の8施設を見学実習。
●館長、学芸員の解説により、展示とともに収蔵庫などのバックヤードの見学や、展示のワークショップも体験した。
商学科 特任教授 福本 明

33 岡山県立岡山東商業高等学校「東商デパート視察」

2023.11.11
岡山ドーム(岡山市北区北長瀬)
経営学科及び商学科の教職課程「商業・情報」免許履修者2年生・3年生:30名
●学校行事、科目「総合的な探求の時間」、科目「課題研究」等の視点から販売体験学習「東商デパート」の視察
商学科 教授 吉田 信



34 中国四国農政局「香川県三木町小養地区農泊モニターツアー」

2023.11.15～11.16
香川県三木町小養地区
商学科:6名(うち韓国留学生2名)
●中国四国農政局と連携している農泊モニターツアーに学生が参加し、野菜収穫体験、使用済み米袋をリユースして作るエコバッグ作り、インシシ肉を使ったジビエ料理等を行い、学生たちの目から見た観光のあり方などについて意見発表した。
商学科 教授 三好 宏



35 キッズビジネスパーク 2023

2023.11.23
環太平洋大学
法学科:1名、経営学科:5名、経営学科:4名、商学科:5名
●一般社団法人教育リソリューション研究協議会からの依頼を受け、参加児童の職業体験や消費活動等の運営補助として、学生15名を派遣した。
●コロナ禍や悪天候のため2019年以来、4年ぶりとなる同イベントは、「岡山でみつめる私の未来」がテーマとされ小学3年生から6年生の児童272名が参加した。
社会総合研究所 所長 海宝 賢一郎
社会総合研究所 次長 吉良 友人



36 日ようび子ども大学「学生交流活動報告会」への参加

2023.11.28
大学コンソーシアム岡山 地域貢献委員会・日ようび子ども大学実行委員会主催(ZOOM オンライン参加)
商学科 FP コース:4名
●「日ようび子ども大学」の学生交流活動報告会が開催された。中心となって活動したFPコース2年生が「キッズマネー教室」の実施報告を行った。
経営学部商学科 教授 高林 玄一



37 和歌山県データ活用コンペティション

2023.12.16
和歌山県データ活用推進センター
経済学部(渡辺ゼミ3年生):3名
●次世代の日本を担うデータサイエンス人材の育成を趣旨とする研究コンテストに参加。40チームの中から上位3チームに選ばれ、「データ利活用賞」を受賞。
経済学部 講師 渡辺 寛之



38 越冬ぶどう関連商品販売プロジェクト

2023.12.24～12.25、
2024.1.27、2024.2.4
真庭市北原、岡山市立京山公民館
商学科:6名
●学生たちが、本学卒業生市川氏が経営する五果苑が生み出した春まで生のままで保存できる奇跡の越冬ぶどうを活用した商品を考えて、北原ぶどう祭りのイベントで販売した。
商学科 教授 三好 宏



39 研究演習2年(大石ゼミ)

2024.1.27
真鍋島(岡山県笠岡市)
商学科:7名
●真鍋島における観光の現状や変化について、情報を収集した。
●卒業論文の現地調査に向けて、聞き取り調査や観察調査の方法に関する技術を実践的に修得した。
商学科 准教授 大石 貴之



40 京山地区 ESD・SDGs フェスティバル

2024.1.27～1.28
岡山市立京山公民館
商学科:3名
留学生(ネパール):6名
犯罪被害者支援部つばみ:2名
●商学科三好ゼミの学生有志による「奇跡の越冬ぶどう」を使用したぶどう飴等の販売、犯罪被害者支援部つばみの学生がSDGs交流会に参加、ネパールからの留学生によるダンス披露と3グループが参加した。
産学官連携センター



41 日韓学生国際化プログラム

2024.1.31～2.4
岡山商科大学、倉敷美観地区、後楽園、姫路城
経済学科:10名
●東国大学(ソウル)学生12名との交流
●食・ファッション・芸能に関するワークショップ
経済学部 准教授 國光 類



42 ぶり市準備手伝い、模擬店出店

2024.2.3～2.4
真庭市北房地区
商学科:5名
●恒例の歴史的行事であるぶり市を盛り上げるため、学生がその準備の手伝いと、「奇跡の越冬ぶどう」を活用した商品や、地元団体が用意したぶどうの粕汁や北房と連携している日生の殻付き社燻の販売を行った。
商学科 教授 三好 宏



43 そうじャ吉備路マラソンボランティア

2024.2.25
総社市内
沿道警備等/法学科:1名、経営学科:4名
ランナー演奏応援/吹奏楽部16名
●総社市との包括協定に基づくボランティア。
●市内公募で集まった5名の学生と総社市からの依頼で参加した吹奏楽部16名がそれぞれの役割でマラソンを盛り上げた。
産学官連携センター

